

研修名 仮設構造物の設計と施工 「設計照査」を自分で行えるために

◆ 研修区分	専門
◆ 対象者	県職員・市町村職員・建設業・建設コンサルタントの経験年数5年程度で現場経験のある土木系技術職員
◆ 定員	80名
◆ 開催日	2024年10月16日(水)

目的 仮設構造物の設計照査と施工に関する必要な基礎知識の習得を図る。

会場 Web開催

受講料 2,200円(税込)

この研修は土木学会継続教育(CPD)認定プログラムです。

単位数:6.5単位



◇10月16日(水)

8:40 ~ 9:00		受付(順次入室許可)	
9:00 ~ 9:10	10	オリエンテーション	企画調査部調査研修課
9:10 ~ 10:30	80	仮設構造物とは 実際に施工した3現場の仮設構造物を事例にして仮設構造物とは何かを具体的に解説。	株式会社 建設経営サービス
10:30 ~ 10:40	10	休憩	
10:40 ~ 12:00	80	仮設設計に必要な現場条件。土工計画 ①仮設設計に必要な現場条件(土質・土圧・荷重・地下水位等)を解説。 ②土工計画・土量計算方法の解説と簡単な演習	株式会社 建設経営サービス
12:00 ~ 13:00	60	昼食・休憩	
13:00 ~ 14:00	60	山留・仮締切・栈橋の設計方法について ①山留簡易計算手法と弾塑性計算手法を解説。 ②河川内の仮締切工の設計手法を解説。 ③仮設栈橋の計算手法を解説。	株式会社 建設経営サービス
14:00 ~ 14:10	10	休憩	
14:10 ~ 15:30	80	仮設山留・簡易計算手法の演習 ①山留壁長の計算演習 ②山留壁の応力・変位の計算演習 ③支保工(腹起・切梁)の計算演習	株式会社 建設経営サービス
15:30 ~ 15:40	10	休憩	
15:40 ~ 17:00	80	仮設橋及び栈橋の計算演習 ①現場での簡単な仮設橋の設計演習 ②栈橋(栈橋杭支持力、主桁等)の設計演習	株式会社 建設経営サービス
17:00 ~ 17:10	10	修了手続き	企画調査部調査研修課

◎ 講義に必要なもの

計算筆記用ノート、関数電卓、三角定規(2枚:45°、30°)

◎ 備考

この研修について確認や質問等がある場合は、企画調査部調査研修課まで電子メールにてお送りください。(E-mail:kensyuu@niigata-ctc.or.jp)